

あうるへるすの会
オンラインイベント
「誰ひとり取り残さない」
をテーマに多角的に考え
話しあう vol.2

対話描画を通して心を支える

戦前から池袋にあり、池袋の東西を繋ぐ地下歩道ウイロードを温かく居心地の良い歩道へと再生させた美術作家 植田志保氏による、心に寄り添う対話描画。

対話描画と共に別室で、文化と保健福祉、コロナ禍の心の辛さや少子高齢化などの社会問題と心に関して豊島区ご担当者とあうるへるすの会代表と副代表が語り合います。

植田志保氏 美術作家 / アートで呼び覚ますウイロード再生事業を成功
直江太氏 豊島区保健福祉部総合高齢社会対策推進室長
馬場晋一氏 豊島区政策経営部参事 国際文化プロジェクト推進室長
佐伯晴子 あうるへるすの会代表 一般社団法人マイ・インフォームド・
コンセント理事長
高野千尋 あうるへるすの会 副代表 豊島ケーブルテレビ

主催

あうるへるすの会 (豊島区の地域保健福祉を勉強する会)

後援

豊島区 / 豊島区教育委員会 / 公益社団法人 豊島区医師会 / 公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会 / 公益社団法人

豊島区薬剤師会 / 社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会

協力

としまNPO推進協議会 / 公益社団法人 としま未来文化財団 / 元気！ながさきの会 / 豊島区高齢者クラブ連合会 / 豊島

ケーブルネットワーク株式会社

対話描画にご参加くださる方を募っています

zoomにて公開制作

日時： 2021年1月27日 18:00~19:30

場所：池袋近郊

お問い合わせ先：takano@toshima.co.jp

(あうるへるすの会 副代表 高野)

zoom配信、後日YouTube配信を予定しております

対話のなかで個人情報公開になる可能性もあります

ご了承いただける方のみ、ご応募いただけますと幸いです。



対話描画 とは、

美術作家 植田志保が 2015年より開始したプロジェクトです。

対話を通し、個人の記憶や意識に潜む「色」が顕在化していく即興描画。

消しゴムを持たない植田の行いを見た人が、「すべてを肯定していくようなその制作は人前で描くべきだ」と助言したことがきっかけではじまりました。

大切な言葉と好きな植物をお聞きしています。

#In_a_Flowerscape | shiho-ueda.com